

1 単元のねらい

歴史上の人物や出来事などについて調べたり考えたりする活動を通して、年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容や読み取り方を理解するとともに、時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目し、時代区分との関わりなどについて考察・表現することができる。

身近な地域の伝統や文化への関心を持ち、具体的な事柄との関わりの中で、収集した情報を年表などにまとめることができる。また、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目し、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察・表現することができる。

中学校の歴史学習の導入として、小学校の学習との関連を図りながら、歴史学習に対する大きな見通しをもつとともに、歴史に関する興味・関心や歴史を学ぶ意欲を高めることができる。

2 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 日本の歴史の大きな流れや各時代の特色に関する様々な資料を収集したり、適切に情報を読み取り、年表などにまとめたりしている。 年代の表し方や、時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解している。 身近な地域の歴史について適切に資料など情報を収集し、年表などにまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 時期や年代、推移、現在のわたしたちとのつながりなどに着目して、小学校での学習を踏まえて、歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し、表現している。 比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域や受け継がれてきた伝統や文化、歴史上の人物、出来事などを調べたり考えたりする活動を通して、日本の歴史の大きな流れや時代の特色に対して見通しを持ち、主体的に調べ分かつようとして課題解決に向けて意欲的に追究している。

●学習改善につなげる評価 ○評定に用いる評価

	1	2	3	4	5	6
知識・技能		●○	●○			
思考・判断・表現		●		●	○	
主体的に学習に取り組む態度	●					○

3 単元構造図 (全6時間) ☆基礎的・基本的な知識, 概念や技能

単元名

歴史へのとびら
～歴史をとらえる
見方・考え方,
身近な地域の調査～

単元学習前の生徒の認識

小学校で、歴史的人物や出来事を学んだけれど、年代ごとにまとめたり、時代で分けて表現したりはしていないので、時代ごとの特色についてあまり考えることができなかった。時代や地域の特色と自分たちのつながりを考えながら考えていきたい。

第1時 歴史の流れ

【●主体的に学習に取り組む態度】

歴史で活躍した人物や有名な文化財について調べよう

小学校で学習した人物や文化財が中学校の学習にもつながっている。「今」という時代は、このような過去の人々の生活やさまざまな出来事があったからこそあるのだ。歴史の学習で、現在や未来へ向けての生き方を考えていくために、過去の人々の生き方や伝統, 文化などを学習していきたい。

第2時 時期や時代の表し方

【●○知識・技能 ●思考・判断・表現】

時代や年代は、どのように表すことができるか

☆西暦, 世紀, 元号, 時代区分, 十干十二支 ⇒ 時代区分の見方・考え方 ☆年表の読み方

年代の表し方や時代の区切り方には、様々な表し方があることが分かった。これから歴史の学習をしていく中で、西暦や世紀, 年号などが何時代であるかを考え、時代のまとまりをとらえながら学習していきたい。

歴史をより深く楽しむためには、どんな見方や考え方を調べ方が必要だろうか。

第3時 歴史の流れのとらえ方

【●○知識・技能】

時代の流れをどのようにとらえるとよいか

☆年号(年表の中で捉える)
⇒出来事の整理・時代推移の見方・考え方
時期・年代・推移・つながり

歴史上の人物や出来事などを年表にまとめると時代の流れがよく理解できた。また、矢印や項目別にまとめながら年表を作成すると、時代の流れが整理されることが分かった。歴史上の人物や出来事などがどのように関わっているかという見方で考えると、歴史を深く理解することができるなあ。

第4時 時代の特色のとらえ方

【●思考・判断・表現】

時代の特色をどのような方法や考え方で

追究するとよいだろうか

☆時代の特色の捉え方
⇒服装, 乗り物, 海上のようす, その他
☆資料を読み取る際の見方・考え方
⇒比較, 相互の関連, 現在とのつながり

時代の特色を捉えるためには、出来事や人々の生活を比較したり、関連付けたりしながら共通点や相違点を見つけるとよいことが分かった。過去の出来事は、今の私たちの生活に影響していることが分かった。現在とのつながりを考えながら時代の特色を捉えていきたい。

第5・6時 テーマを決めて調査・考察・まとめ・発表しよう

【○思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度】

身近な地域の歴史について、追究し、発信しよう

☆テーマ設定の仕方 ☆調査の仕方
☆考察の仕方 ☆表現の仕方

身近な地域には○○という歴史があり、現在の生活と深く関わっていることが分かった。様々な事柄を関連させたり、比較させたりして捉えることで、この地域ならではの特色や歴史とのつながりを考えることができた。また、写真や年表, グラフ, プレゼンなどを活用することは、分かりやすくまとめたり、発表したりするうえで効果的であった。○○とういことが分かったので、今後の歴史の学習で、つながりに着目しながら追究していきたい。

単元学習後の生徒の認識

小学校で学習した人物や出来事を時代区分で分けて年表にまとめ、おおまかな時代の特色を理解することができた。また、年表を作ってみて、日本と外国との関係に深い結びつきがあることが分かった。身近な地域の調査では、伝統や文化が代々受け継がれて大切にされてきたことが分かったし、その歴史を背景に、地域の環境やわたしたちとのつながりの深さについて考えることができた。歴史的分野の学習では、その時代に合わせながら人物が行った政策や、今のわたしたちの生活や社会との関わりについても考えていきたい。

4 単元指導計画

	ねらい	おもな学習活動	評価規準	資料および留意点
<p>1 歴史の流れ</p>	<p>小学校の学習を踏まえて、歴史学習に対する大きな見通しをもつとともに、歴史上の人物や出来事などについて、調べたり考えたりする活動を通して、意欲的に追究することができる。</p> <p>★歴史的人物 ★政策、文化財 ★時代区分、年表</p>	<p>1 「歴史へのとびら」の資料をから、小学校で学習した人物や文化財を探す。さらに詳しく調べてみたいことを見つけ、課題化する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>歴史で活躍した人物や、有名な文化財について調べよう。</p> </div> <p>2 時代ごとに分かれて、グループ交流し、ホワイトボードに各時代のおおまかな特色についてまとめる。 (例)源頼朝の時代から、武士が政治の実権をにぎるようになった。鎌倉文化で金剛力士像力が作られたように、力強さが表れた時代だったのだ。 (例)岐阜県の人物に斎藤道三、織田信長 明智 光秀などがいた時代は、まさに戦国の時代だったのかな。それぞれの人物がどんな生き方をしていたのか詳しく調べてみたい。</p> <p>3 ホワイトボードを使って全体交流し、話を聞いて分かったことを自分の言葉でノートにまとめる。</p>	<p>日本の歴史の大きな流れや時代の特徴に対して見通しをもち主体的に調べ分かっていく課題解決に向けて意欲的に追究している。</p> <p>【主体的に取り組む態度】</p> <p>各時代の特徴に関する様々な資料を収集したり、適切に情報を読み取ったりしている。</p> <p>【知・技】</p>	<p>◇小学校で学習した人物、政策、文化財(年表、絵資料)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット学習で、歴史的人物や政策、文化財などを調べられるようにしておく。 ・時代区分の入った学習プリントを使うことで、各時代の特色や関心を高めることができるようにする。 ・ホワイトボードにウェビングマップでまとめることで、人物や文化財などのつながりを視覚的に分かりやすく表すことができるようにする。
	<p>2 時期や時代の表し方</p>	<p>1 「794年」「8世紀」「古代」「平安時代」の4つがすべて同じ時期をあらわしていることを知り、課題化する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>時代や年代は、どのように表すことができるか。</p> </div> <p>2 西暦年や世紀、年号などの表し方や特徴について知る。 ・歴史の境目は、全部で5つもあるのだ。</p> <p>3 「歴史の流れ」や「年表を読み取ろう」、巻末年表を参考にしながら、西暦、元号、時代区分の三つで表す。</p>	<p>世紀、西暦、元号、時代区分について理解し、時期や時代について正しく理解することができる。</p> <p>【知・技】</p>	<p>◇西暦、世紀、元号、時代区分の年表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はっきりと区切れないところは「～ごろ」などという表現で構わないことを伝えながら、様々な時代の区切り方があることを理解させる。 ・年表と年号などの区切りを関連付けながら考えさせる。
		<p>年代の表し方や時代の区切り方には、様々な表し方があることが分かった。これから歴史の学習をしていく中で、西暦や世紀、年号などが何時代であるかを考え、時代のまとまりをとらえながら学習していきたい。</p>		

	ねらい	おもな学習活動	評価規準	資料および留意点
3 歴史の流れの とらえ方	<p>小学校で学んだ人物や文化財、出来事を基にテーマを設定し、年表にまとめる活動を通して、時代の流れを整理し、時代の推移を捉えることができる。</p> <p>★歴史的人物 ★文化財 ★出来事 ★年表 ★時系列 ★時代の推移 ★関わり</p>	<p>1 小学校で学んだ人物、文化財、出来事を提示し、時代の流れで捉えさせる。 ・時系列では、時代の流れが分からない。</p> <p>時代の流れをどのようにとらえるとよいか。</p> <p>2 巻末年表とスキルアップの年表を比較して違いを読み取らせ、時代の流れがよく分かる年表のまとめ方を知る。 ・時代区分が書いてあると、いつ起こったか、いつの時代の人物なのかが分かる。 ・関係する事項を矢印で結ぶと、つながりがよく分かる。</p> <p>3 「政治の動き」「外国との関わり」「文化の移り変わり」の三つのテーマから一つ選ぶ。</p> <p>4 テーマに関係する人物、文化財、出来事を選び、年表を作成する。</p> <p>5 年表を作成して分かったことや、年表を作成するよさをまとめる。</p>	<p>時期や推移、現在の私たちとのつながりに着目して、小学校での学習を踏まえて歴史上の人物や文化財、出来事を年表にまとめている。</p> <p>【知・技】</p>	<p>◇小学校で学んだ人物、文化財、出来事の資料や年表</p> <p>・年表で何を明確にして作成するとよいかを考えさせ、目的意識をもって取り組ませる。</p> <p>・年表を作成する際、矢印や項目別にまとめて、時代の流れを整理することに気付かせる。</p> <p>・教科書や資料集、ICTを活用して調べることができるテーマを設定させる。</p>
		<p>歴史上の人物や出来事などを年表にまとめると、時代の流れがよく理解できた。また、矢印や項目別にまとめながら年表を作成すると、時代の流れが整理されることが分かった。歴史上の人物や出来事などがどのように関わっているかという見方では考えると、歴史を深く理解できる。</p>		
4 時代の特色の とらえ方	<p>時代の出来事などの変化や、その要因を捉える活動を通して、時代区分との関わりや時代の特色などについて考察し、表現することができる。</p> <p>★時代の特色 ⇒服装、乗り物、海上のようす</p> <p>★見方・考え方 ・比較 ・相互の関連 ・現在とのつながり</p>	<p>1 江戸時代と明治時代の高輪の様子を比較し、読み取れることを交流する。 ・服装が全く違っている。 ・移動手段は、かごから人力車に変わっている。</p> <p>時代の特色を、どのような方法や考え方で追究するとよいか。</p> <p>2 二つの資料の共通点や相違点について、グループで交流する。 ・着物を着ていることは変わっていない。 ・両方の時代にちょんまげの人がいる。でも、明治時代はちょんまげをしていない人も増えている。</p> <p>3 江戸時代から明治時代への変化は、「歴史の流れ」のどのタイミングで起こったか、なぜそのように変化したのかを考察する。 ・開国 ・明治維新 ・文明開化</p>	<p>時期や年代、推移、現在のわたしたちとのつながりなどに着目して、事象を比較したり、相互の関連や現在とのつながりを捉えたりしながら、時代区分や時代の特徴などについて考察し、表現している。</p> <p>【考・判・表】</p>	<p>◇西暦、世紀、元号、時代区分の年表 ◇高輪の江戸時代と明治時代のような</p> <p>・資料を比較・関連付けして読み取らせることで、共通点や相違点を捉えさせる。</p> <p>・過去の出来事が現在に影響したり、私たちの生活と関係したりすることがあることを促し、現在とのつながりについて考察させることで、社会の理解が深まるようにする。</p>
		<p>時代の特色を捉えるためには、出来事や人々の生活を比較したり、関連付けたりしながら共通点や相違点を見つけるとよいことが分かった。過去の出来事は、今の私たちの生活に影響していることが分かったので、現在とのつながりを考えながら時代の特色を捉えていきたい。</p>		

	ねらい	おもな学習活動	評価規準	資料および留意点
5・6 テーマを決めて調査・考察・まとめ・発表をしよう	<p>身近な地域の伝統や文化への関心をもち、具体的な事柄との関わりの中で、収集した情報をレポートや新聞などにまとめる活動を通して、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目し、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察・表現することができる。</p> <p>★テーマ設定の仕方 ★調査の仕方 ★考察の仕方 ★表現の仕方</p>	<p>1 小学校で学習した地域学習に関連付けながら、身近な地域の歴史を提示し、テーマを設定して追究する活動をしていくことを説明する。</p> <p>身近な地域の歴史について、追究し、発信しよう。</p> <p>2 どのようなテーマが考えられるか、ウェビングマップでノート書く。</p> <p>3 テーマ設定の理由や調査計画をノートに書く。</p> <p>4 調べたことをメモしたり、図式化したりして、調査資料を収集、整理する。 ・インターネット ・資料館や博物館の見学 ・聞き取り調査 ・書籍 など</p> <p>5 調査内容が、どの時代と関わっているかを捉え、歴史の特色についてまとめる。</p> <p>6 地域の歴史について考察したことを、グループごとに交流する。 ・発表を聞いて、わたしがまとめたことと共通して言えることがあった。この地域には〇〇と関係するものがたくさんある。 ・この地域の歴史は、〇〇の時代と関係が深いことが分かった。今後の歴史の学習で詳しく調べたい。</p> <p>7 レポート、新聞、ポスター、プレゼンなどにまとめる。</p> <p>8 分かりやすい発表になるように、仲間と交流し、内容などを見直す。</p> <p>9 グループごとに発表会を行い、感想交流をする。 ・この地域の歴史には、〇〇が深く関係している。わたしが調べた〇〇も歴史の特色が似ていることが分かった。</p> <p>10 自分の発表を振り返る。</p>	<p>・身近な地域に受け継がれてきた伝統や文化、人物、出来事などの歴史を主体的に調べ分かっていって、課題解決に向けて意欲的に追究している。 【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。 【思・判・表】</p>	<p>◇郷土資料 ◇岐阜県の地図や楽年表 ◇資料館や図書館などの書籍</p> <p>・小学校で学習した地域学習を踏まえ、興味のある事柄をウェビングマップで挙げ出しながら、テーマを決めさせる。 ・仲間のテーマと自分のテーマを比較させながら、再度、自分のテーマを具体化する。</p> <p>・「推移」「比較」「相互の関連」「現在とのつながり」を使って考えさせ、今後の社会の在り方を構想させる。</p> <p>・伝えたいことを端的に書いたり、図式化したりして、視覚的に分かりやすくまとめさせる。また、クイズ形式やプレゼンなどを活用させることで、興味・関心をもたせながら発信することができるようにする。 ・発表会では、PMIツールなどを使って、仲間のよさや改善点などを伝え合えるようにする。</p>
		<p>身近な地域には〇〇という歴史があり、現在の生活と深く関わっていることが分かった。様々な事柄を関連させたり、比較させたりして捉えることで、この地域ならではの特色や歴史とのつながりを考えることができた。また、写真や年表、グラフ、プレゼンなどを活用することは、分かりやすくまとめたり、発表したりするうえで効果的であった。〇〇とういことが分かったので、今後の歴史の学習で、つながりに着目しながら追究していきたい。</p>		